

運用管理担当者をラクにするシンクライアントの本格導入について 第1回 コラムレポート

テ　　マ	～クライアント管理の手間とコストを削減～ 「運用管理担当者をラクにするシンクライアントの本格導入について」
日　　時	2007年6月8日
参　加　者	シンクライアントの導入を検討している企業、および既に導入した企業、計8名。
主　　催	キーウェアソリューションズ株式会社
司会・進行	株式会社ナレッジサイン 吉岡英幸

シンクライアント導入検討の理由

シンクライアント導入を検討している理由として最も多かったのは、「セキュリティ対策」と「コスト削減」だ。

セキュリティ対策としては、「セールスマンが使用しているモバイル PC に顧客情報を残さないようにしたい」「研究所のデータ持ち出しの危険性を無くしたい」などといった理由が参加企業から挙がった。情報漏洩は、物理媒体の紛失・破損によるケースが圧倒的に多い。シンクライアント製品を導入することで、サーバー上のデータのディスクへの保存を禁止できるため、セキュリティを大幅に向上できる。また、シンクライアント製品に、ちょっとしたデバイス制御ソフト等を組み合わせることで、さらに高度なセキュリティを実現することも可能だ。

一方、コスト削減としては、「Win98、Mac などの既存 PC を有効活用したい」、「アプリケーションをインストールする際の運用コストを削減したい」、「サーバーの一元管理を実現したい」といった理由が挙がった。今回、既にシンクライアント導入済み企業の担当者にもご参加いただいたが、この担当者の部署では、当初は「2 台の DB サーバーを新設し、運用していくことを考えていた」という。しかし、新たなサーバーの設置はコストもかかり、管理上も問題がある。そこで、シンクライアントを導入し、8 箇所のサーバーを 1 箇所にまとめることにした。結果としては、「新サーバーを新たに 2 台設置する」という当初の計画と比べて、大幅なコストダウンになったという。

運用コストの削減

初期費用だけではない。より大きなメリットは、ランニングコストにあった。この企業では、これまで 50 台超のクライアント PC それぞれに行っていた、ソフトのインストール、動作確認、バージョンアップといった作業も、シンクライアント導入後は、1 箇所にまとめたサーバーにだけ行えばよいことになった。システム設計担当者によれば「バージョンアップにかかっていた費用がこれまでの 10 分の 1 以下になった」とのことだ。

気になるのは、シンクライアント化する際のサーバーの数だ。たとえばキーウェアソリューションズが取り扱う GO-Global の場合、サーバー 1 台あたりのクライアント数は 30 台前後とされている。しかし、実際には、使用するクライアントの数だけではなく、通常の業務で使用するアプリケーションの数、ブラウザで開く画面数、ピーク時の接続数などによって、1 台のサーバーに何台までクライアントを割り当てられるか、は変わってくる。

サーバー側でメモリ、OSなどをチューニングしたり、使用する画面数を減らすなどしてアプリケーション側でチューニングを施すことによって、サーバー1台あたりのクライアント数をある程度まで増やしていくことも可能だ。使用するクライアント数に単純に比例してサーバーが増える＝コストもかかるということではない。

ユーザーにとっての使いやすさ

シンクライアント化によって、ユーザーにとっての使い勝手は変化するのだろうか。

通常、シンクライアントは「デスクトップにファイルがあり、それをクリックする」という画面構成にはなっておらず、既にフォルダを開いたイメージになっている。ユーザーによっては最初この点に戸惑うことがあるかもしれないが、アプリケーション自体の使用感には変化がないので、特に問題とはなっていない。

シンクライアントはWebブラウザで動いているため、ブラウザを落とすとアプリケーションも同時に落ちてしまうのだが、ローカルPC上のアプリケーション操作と変わらないために、ついブラウザを落としてしまうことも導入当初はあったそうだ。こうした点については、事前に十分に説明しておくことで回避することができるだろう。

起動後の使用感についてはほとんど変化がない。むしろ、シンクライアント化することで、ユーザーにとってのメリットも出てくる。

モバイルPCとして使用する場合、64K程度の環境しか実現できない場合があるが、クライアントではなく、サーバー上でデータもアプリケーションも開いているため、ファイルサイズが大きくても、影響がないのだ。

GO-Globalでは、画像ではなく、描画の命令情報をサーバーからクライアントに転送する方式になっているため、クライアント側では画像表示用のメモリ、CPUしか使わなくて済む。CADなどのアプリケーションに強いのも特徴である。

セキュリティ、運用コスト削減という大きな2つのメリットを享受できるシンクライアントは今後ますます発展していくであろう。

(文責:株式会社ナレッジサイン 森 天都平)